

Brooklyn DAC+の活用(1)

—AES 入力—

1. はじめに

今回からシリーズを改め、手始めに Brooklyn DAC+の導入シリーズで実施していなかった AES 入力を実施します。

2. Brooklyn DAC+の試聴方法

デジタルの AES 出力を行える機器はありませんので、接続は下記のような方法を探ります。今回は、Brooklyn DAC+への AES 入力について CD トランスポートを替えて実施します。

47 研究所 4716 信楽

Philips LHH1001



1) CRV-555 を中継する方法



CRV-555 は RCA 入力と AES 出力がありますので CD トランスポートからの RCA デジタル出力を受けて AES 出力に変換できます。AES ケーブルで CRV-555 からの AES 出力を受け、BrooklynDAC+の AES 端子に入力します。

なお、CRV-555 はクロック入力がないと動作しませんので、GPS-777 から 44.1Hz のクロックを入力します。

2) RCA→AES 変換コネクターを中継する方法



CD トランスポートからの RCA デジタル出力を受けて、AES 出力に変換できる変換コネクタを経由させ、AES ケーブルで BrooklynDAC+ の AES 端子に入力します。

設定は BrooklynDAC+ の 9.2.1 INPUT で AES を選択します。クロック選択は 9.2.5 Sync IN、INT (44.1KHz)、WCK (44.1KHz) を試します。

音源は CD および MQA-CD とします。

3. Brooklyn DAC+ の試聴結果

CRV-555 を中継する方法で 4716 信楽による CD の再生では、表示は 44.1KHz24bit となり、IN、INT(44.1KHz)、WCK(44.1KHz) のいずれでも再生可能でした。

CRV-555 を中継する方法で 4716 信楽による MQA-CD の再生では、IN、INT(44.1KHz)、WCK(44.1KHz) のいずれでも MQA のデコードはできず、44.1KHz24bit の表示でした。これは、CCV-5 を経由する場合と同様の結果で、リクックすると MQA の情報が正しく伝えられないことを示しています。

CRV-555 を中継する方法で LHH1001 による CD の再生では、表示は 44.1KHz24bit となり、IN、INT(44.1KHz)、WCK(44.1KHz) のいずれでも再生可能でした。

CRV-555 を中継する方法で LHH1001 による MQA-CD の再生では、IN、INT(44.1KHz)、WCK(44.1KHz) のいずれでも MQA のデコードはできず、44.1KHz24bit の表示でした。

RCA→AES 変換コネクタを中継する方法で 4716 信楽による CD の再生では、表示は 44.1KHz16bit となり、クロックの設定は、IN、INT(44.1KHz)、WCK(44.1KHz) でロックしました。

RCA→AES 変換コネクタを中継する方法で 4716 信楽による MQA-CD の再生では、IN では MQA-CD は再生可能で、表示は 352.8KHz24bit となりましたが、INT と WCK では MQA-CD のデコードはできませんでした。

RCA→AES 変換コネクタを中継する方法で LHH1001 による CD の再生では、表示は 44.1KHz16bit となり、クロックの設定は、IN、INT(44.1KHz)、WCK(44.1KHz)

でロックしました。

RCA→AES 変換コネクタを中継する方法で LHH1001 による MQA-CD の再生では、IN では MQA-CD は再生可能で、表示は 352.8KHz24bit となりましたが、INT と WCK では MQA-CD のデコードはできませんでした。

音質的には、いずれも RCA→AES の変換のプロセスが入ることと S/PDIF 入力のような DACU-700 に対応する、AES 用のデジタルアキュライザーがないことから、S/PDIF 入力より劣ります。

以上から、AES 入力におけるクロック設定の追記を、オーディオ資料室の [Brooklyn DAC+のクロック入力選択表 3](#) に加えました。

4. まとめ

RCA→AES の返還を二つの方法で行い、CD と MQA-CD の再生を行いました。

CRV-555 を中継する方法では、MQA のデコードは出来ませんでした。RCA→AES 変換コネクタを中継する方法では MQA のデコードは可能でしたが、クロック入力は IN に限定されました。

音質的には、余分な変換プロセスが入ること、およびバランス型の DACU アキュライザーがないことから、S/PDIF 入力に及びませんでした。

以上